■第６学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
紙が奏でる形と色のハーモニー	絵	2	色画用紙を切り抜いたり重ね合わせたりして、絵に表す。	☆ 知	色画用紙の切り方や組み合わせ方を工夫する。	知	紙を切って重ねたり組み合わせたりして絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解している。	紙を切って重ねたり組み合わせたりして絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解するとともに、色画用紙やカッターナイフを適切に活用して、これまでの色画用紙やカッターナイフについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせ、表したいことに合わせて表し方をこだわりをもって工夫している。	色画用紙、接着剤、カッターナイフ、カッターマットなど
						技	色画用紙やカッターナイフを適切に活用するとともに、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				思	色画用紙を切ったり組み合わせたりしてできた形や色から、表したいことを考える。	発	形や色、奥行き、色の鮮やかさなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	色画用紙を切ったり組み合わせたりしてできた形や色のよさを味わう。	主	つくりだす喜びを味わい、紙を切って重ねたり組み合わせたりして絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
絵のお話で プレゼント	工	4	友達と協力してお話と絵を考えて紙芝居をつくり、伝えることをたのしむ。	知	絵でお話が伝わるように形や色を工夫する。	知	グループで協力し、１年生に伝わるお話を絵に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。	つくりだす喜びを味わい、アイデアを出し合いながらグループで協力し、１年生に伝わるお話を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	カラーペン、クレヨン、パス、絵の具、色鉛筆、画用紙など
						技	描画材料を活用し、これまでの描画材料などの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				思	形と色でどのように表すか考える。	発	形や色などをもとに、自分のイメージをもちながら、感じたことや、想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				☆ 学	表し方について話し合い、友達と協力して絵に表すことをたのしむ。	主	つくりだす喜びを味わい、グループで協力し、１年生に伝わるお話を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
いつもの学校が変身	遊	2	学校内の環境や場所の形を生かして、来校者がたのしくなるものやことを考えてつくる活動をする。	知	これまでに使った材料を使って、つくり方を工夫する。	知	見慣れた場所に新たな材料を組み合わせることを通して、動きや奥行きを理解している。	環境や場所の形状、日常の機能などから表したいものを発想豊かに思いつき、空間の構成を考え合わせながら、どのように活動するか考えている。	段ボール、色画用紙、色セロハン、お花紙、ビニルシート、身近な材料や用具、養生テープなど
						技	材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方など活動を工夫してつくっている。		
				☆ 思	場所の特徴を生かして、アイデアを考える。	発	異なる材料や場所との組み合わせから表したいものを見つけ、どのように活動するか考えている。		
						鑑	自分や友達の活動の造形的なよさや表現の意図を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	友達と力を合わせて活動をたのしむ。	主	友達と力を合わせて活動する喜びを味わい、場所を変身させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		

©KAIRYUDO Publishing Co.,Ltd.

■第６学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
ゆらめきファンタジーワールド	遊	2	普段使っている教室や廊下を光と水を組み合わせることで、友達と協力して場所を変化させる活動をする。	知	場所の特徴を生かして、光と水の組み合わせを工夫する。	知	天井や壁などに光と水のゆらめきを反映させる組み合わせ方や机や椅子の配置を考え、光の色の鮮やかさや奥行きを理解している。	光と水のよさを感じ取り、空間を構成したり、周囲の様子を考え合わせたりしながら、表したいことを積極的に考え、どのように活動するか考えている。	透明容器、水、蛍光塗料、光源など
						技	光と水のゆらめきがよりよく見える組み合わせや環境づくりなど、活動をを工夫してつくっている。		
				☆ 思	光と水のよさを生かして表したいことを考える。	発	水にあてる光の角度を考えたり、場所に合わせて光と水の置き方を変えることから表したいことを思いつき、どのように活動するか考えている。		
						鑑	光と水のゆらめきの美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	友達と協力してたのしく活動する。	主	友だちと協力して、光と水を組み合わせて表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
すかして重ねて わたしの光	工	4	紙と光の特徴を生かして、自分が表したいランプをつくる。	☆ 知	紙の切り方や組み合わせ方などを工夫する。	知	LEDライトと固さや光の透け方が違う紙の組み合わせから、光と影の美しさや奥行きを理解している。	LEDライトと固さや光の透け方が違う紙の組み合わせから、光と影の美しさや奥行きを理解するとともに、LEDライトと固さや光の透け方が違う紙の造形的な特徴を生かして、紙の切り方や組み合わせ方などを試しながら、表し方を工夫している。	いろいろな種類の紙、色が変化するLEDライト、接着剤、ホチキス、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
						技	LEDライトや紙の特徴を生かして、紙の切り方や組み合わせ方などを試しながら、表し方を工夫して表している。		
				思	光を通した感じから、つくりたいランプを考える。	発	紙の透かし方や重ね方を試しながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品から、表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	ランプをつくり、みんなで飾ってたのしむ。	主	光と影の美しさを味わいながら、ランプをつくったり友達と飾ったりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
心も動き出すからくリンク	工	4	リンク機構を生かした動く仕組みから、表したいものをつくる。	知	動く仕組みを理解して、つくり方を工夫する。	知	リンク機構を生かした動く仕組みを使って表すことを通して、動きやバランスついて理解している。	リンク機構を使って動く仕組みをもとに、表したいことを積極的に見つけ、自分のイメージを表すために試行錯誤をし、どのように表すか考えている。	はとめ、割りピン、色画用紙、工作用紙、ボール紙など
						技	はとめや割りピン、画用紙や工作用紙を活用して、形や色などの表し方を工夫して表している。		
				☆ 思	動く仕組みから表したいことを考える。	発	リンク機構を生かした動く仕組みをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	友達の作品からよさや美しさ、つくった人の思いを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	面白い動きをつくることをたのしむ。	主	動く仕組みの作品をつくりだす喜びを味わい、仕組みを生かして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		

©KAIRYUDO Publishing Co.,Ltd.

■第６学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
不思議なとびらのむこうには	絵	4	身近なものが不思議な扉になることを想像して不思議な扉の向こうに広がる世界を表す。	知	表したいことが伝わるように、表し方を工夫する。	知	身近なものを不思議な扉として表すことを通して、二つの世界の形や色の造形的な特徴を理解している。	身近なものが不思議な扉になるイメージを広げて、身のまわりのものをさまざまな視点から集め、自分の経験や想像から向こうの世界を考え出し、より表したい、伝えたい二つの世界を選び、どのように表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、色鉛筆、画用紙など
						技	表したい二つの世界を表す描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				☆ 思	身のまわりのものの向こうに、あったらいいな、面白いなと思う世界を考える。	発	不思議な扉からイメージを広げて表したいことを見つけ、その世界の形や色、構成など、どのように表すか考えている。		
						鑑	身のまわりのものや友達の作品を鑑賞することから、造形的なよさや表現の意図を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	二つの世界を組み合わせて表すことをたのしむ。	主	つくりだす喜びを味わい、二つの世界を描く学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
わたしのお気に入りの場所	絵	4	学校内外のお気に入りの場所を絵に表す。	知	気持ちが表れるように、描き方を工夫する。	知	お気に入りの場所を描くことを通して、身のまわりの風景の奥行きや色の鮮やかさを理解している。	描きたいお気に入りの場所を見つけ、スケッチや観察をすることから感じたことをもとに想像を広げたり深めたりして、どのように主題を表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
						技	気持ちや思いが伝わるように、描画材料を選び、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表し方を工夫して表している。		
				☆ 思	お気に入りの場所から表したいことを考える。	発	お気に入りの場所から感じたことをもとに自分のイメージを深め、どのように主題を表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品について、どんな思いで描いたのかについて考えたり伝え合ったりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	お気に入りの場所を描くことをたのしむ。	主	お気に入りの場所を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
わたしの二つの気持ち	絵	4	表したい気持ちを組み合わせて絵に表す。	知	気持ちが表れるように、形や色、筆使いを工夫する。	知	気持ちを表現する活動を通して、形や色の組み合わせやバランスを理解している。	心を開いて自分の気持ちに向き合い、自分の気持ちを表現するたのしさを味わい、二つの気持ちを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙、ボール紙、身近な材料、新聞紙など
						技	表したい感じに合わせて材料や用具を活用し、表し方などを工夫して表している。		
				思	表したい二つの気持ちを考える。	発	気持ちに自分なりのイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	友達の作品を鑑賞することを通して、表現の意図や特徴を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				☆ 学	心を開いて、自分の気持ちを描くことをたのしむ。	主	心を開いて自分の気持ちを表現するたのしさを味わい、二つの気持ちを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		

©KAIRYUDO Publishing Co.,Ltd.

■第６学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
見て感じて わたしの表現に	絵	4	芸術家の作品を鑑賞し、気に入った表現方法を自分の絵にも取り入れて表したいことを絵に表す。	知	芸術家の表現を取り入れて表し方を工夫する。	知	芸術家の表現を取り入れて絵に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。	つくりだす喜びを味わい、芸術家の表現について考え、表現を取り入れて絵に表す活動に主体的に取り組もうとしている。	絵の具、クレヨン、パス、鉛筆、色鉛筆、画用紙、作品など
						技	水彩絵の具やクレヨン、パス、カラーペンなどを活用するとともに、これまでの描画材料などの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表している。		
				思	芸術家の表現のよさから、表したいことを考える。	発	自分のイメージをもちながら、感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				☆ 学	芸術家の表現を取り入れて描くことをたのしむ。	主	つくりだす喜びを味わい、芸術家の表現を取り入れて絵に表す活動に主体的に取り組もうとしている。		
形の中に入ってみると	立	2	自分自身が作品の中に入り込んだつもりになることを手がかりに想像を広げ、粘土で立体に表す。	知	空間を考えて、粘土の形のつくり方を工夫する。	知	形の中に入り込むという感覚を通して、形がつくる空間を理解している。	形の中に入り込んで表す形の特徴をもとに、自分のイメージをもちながら、想像豊かに表したいことを見つけ、自分なりにこだわりをもってどのように表すか考えている。	土粘土、粘土べら、粘土板、タオル、カメラ、タブレット端末など
						技	粘土の特徴を生かし、表し方を工夫して表している。		
				☆ 思	作品の世界に入り込んだつもりになって、表したい形を考える。	発	形の中に入り込んで表す形の特徴をもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	友達の作品や街にあるモニュメントやオブジェなどからよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化など感じ取ったり、考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	作品の中に入り込むことをたのしむ。	主	作品の世界に入り込む喜びを味わい、粘土で形を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
ねん土の板から生み出す形	立	2	粘土の板を切ったり組み合わせたりして、表したいことを立体に表す。	知	粘土の板の切り方や組み合わせ方を工夫する。	知	粘土の板を切ったり組み合わせたりすることから、立体の美しさやバランスを理解している。	粘土の板を切ったり曲げたりねじったりした形の組み合わせ方を試しながら主題を決め、表し方を積極的に考えている。	土粘土、粘土べら、のし棒、たたら板、粘土針、粘土板、タオル、ビニル袋など
						技	粘土を切ったり曲げたりねじったりしたものを、表したいものに合わせて、組み合わせ方を工夫して表している。		
				☆ 思	粘土の板を切ったり形づくったりしながら、表したいものを考える。	発	粘土の板を切ったり形づくったりしながら自分なりのイメージをもち、表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品の造形的な美しさやバランスなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	粘土の板を組み合わせてつくることをたのしむ。	主	粘土の板を組み合わせながら表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		

©KAIRYUDO Publishing Co.,Ltd.

■第６学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
墨の達人	絵	2	筆やさまざまな用具を使って、墨のよさを生かして、表したいことを絵に表す。	知	墨のよさや特徴を生かして表し方を工夫する。	知	墨で描くことを通して、にじみやかすれ、動きやバランス、色の感じなどを理解している。	墨のよさを味わい、表し方をさまざまに試す中で墨の技法や用具を使ってできる形から表したいものを見つけたり、表したいことに合わせて表現を組み合わせながら、墨で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	墨汁、和紙、筆となるもの、新聞紙など
						技	表したいことに合わせて墨の技法や用具による効果を選んだり、組み合わせたりして表し方を工夫して表している。		
				思	墨の濃さや用具でできる形などから表したいものを考える。	発	墨の技法や用具によってできる形の感じなどから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品の工夫したところ、表し方の違いやよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				☆ 学	墨で描くことをたのしむ。	主	墨のよさを味わい、墨で描く学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
墨や筆の技 水墨画の世界へ	鑑	2	墨や筆のいろいろな技に注目して水墨画を鑑賞して、感じたことを話し合う。	知	墨や筆の技や水墨画の特徴に気づく。	知	雪舟の『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞する活動を通して、墨の濃さの違いによる形や色など、水墨画の造形的な特徴を理解している。	『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞して、お気に入りの場所を探して発表し合い、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	作品など
						技			
				☆ 思	墨や筆のいろいろな技から、作品のよいところを考える。	発			
						鑑	『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞して、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	話し合いながら、墨や筆の技をたのしむ。	主	気づいたことや感じたことを話し合うことから、自他の感じ方の違いを味わい、鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
金属と木でチャレンジ	工	6	金属と木の特徴を生かして、それらを組み合わせて、飾るものをつくる。	☆ 知	材料の特徴を生かして、つくり方を工夫する。	知	異なる材料の組み合わせて表すことを通して、生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。	異なる材料を組み合わせて表すことを通して、生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解するとともに、材料の特徴を生かし、金属と木の効果的な組み合わせを試したりしながら材料の組み合わせ方や表し方を工夫して表している。	針金、アルミホイル、空き缶、木材（板材、角材、枝など）、接着剤、ペンチ、ラジオペンチ、万能ばさみ、金づち、のこぎり、きり、木工やすりなど
						技	材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方や表し方を工夫して表している。		
				思	金属と木を組み合わせて飾るものを考える。	発	異なる材料の組み合わせから表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品のよさや面白さ、材料の使い方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	自分や友達の作品のよさを味わう。	主	自他の作品のよさを味わい、異なる材料の組み合わせによって表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		

©KAIRYUDO Publishing Co.,Ltd.

■第６学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
ためして刷って広がる思い	絵・版	4	これまでに経験した版画やスチレンボードの特徴を生かして、版に表す。	知	スチレンボードの特徴を生かして、表し方を工夫する。	知	版による表現を通して、形や色の組み合わせと、そこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。	さまざまな方法を試しながら、想像豊かに自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	版画インク、版画用紙、スチレンボード、版画用具、カッターナイフ、カッターマット、新聞紙など
						技	版による表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫して表している。		
				☆ 思	版をつくったり刷ったりしながら表したいことを考える。	発	さまざまな方法を試しながら自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品から表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	思いついた表し方をいろいろ試して、スチレンボード版画をたのしむ。	主	版による表現方法のよさを味わい、スチレンボード版画に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
白くなったら見える世界	立	6	身辺材料を液体粘土などで白く固めた形の組み合わせから、表したい白い世界を立体に表す。	知	材料の固め方や置き方を工夫する。	知	液体粘土で固めてできた形の組み合わせをいろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。	液体粘土で白く固めた形の組み合わせをいろいろな角度から見ながら表したいことを思いつき、立体の動きやバランスを意識しながら、どのように表すか考えている。	段ボールや布などの身近な材料、接着剤、液体粘土、白い絵の具、トレイ、養生シートなど
						技	液体粘土で固めた材料の特徴を生かして、置き方や表し方を工夫して表している。		
				☆ 思	液体粘土で白くした形から表したいことを考える。	発	液体粘土で白くした形の組み合わせをいろいろな角度から見ながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	自分や友達の作品のよさを味わう。	主	液体粘土や身辺材料の手触りや変化を味わい、白く固めた形から思いついた世界を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
わたしはデザイナー 12さいの力で	工	8	生活がたのしく便利になるものをつくる。	☆ 知	これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫する。	知	生活がたのしく便利になるものをつくることを通して、形や色、奥行きやバランスなどを理解している。	生活がたのしく便利になるものをつくることを通して、形や色、奥行きやバランスなどを理解するとともに、これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫し、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	板材、釘、接着剤、絵の具、電動糸のこぎり、のこぎり、きり、金づち、紙やすり、木工やすりなど
						技	これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫し、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				思	使う場面を思い浮かべて、板材で生活がたのしく便利になるものを考える。	発	使う場面を思いうかべながら、板材で生活がたのしく便利になるものを思いつき、どのように表すか考えている。		
						鑑	表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を深めている。		
				学	生活がたのしく便利になるものをつくることをたのしむ。	主	生活がたのしく便利になるものをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		

©KAIRYUDO Publishing Co.,Ltd.

■第６学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
ドリーム カンパニー	工	8	「夢の新製品」を友達と協力して考え、これまで学んだ既習事項を生かして工作に表す。	知	身近な材料の使い方や、製品の広告のしかたを工夫する。	知	夢の新製品をつくることを通して、形や色など造形的な特徴を理解している。	つくりだす喜びを味わい、どのようなことができるか探究しながら、あったらいいなと思う新製品をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	今までに使ったいろいろな材料など
						技	表現方法に応じて身近な材料を活用し、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表している。		
				思	あったらいいなと思う新製品を考える。	発	夢の新製品として表したいものを見つけ、どのように主題を表すか考えている。		
						鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				☆ 学	協力してアイデアを考えたり表したりすることをたのしむ。	主	つくりだす喜びを味わい、あったらいいなと思う新製品をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		

©KAIRYUDO Publishing Co.,Ltd.